

**株式会社テイツー (JASDAQ7610)**

---

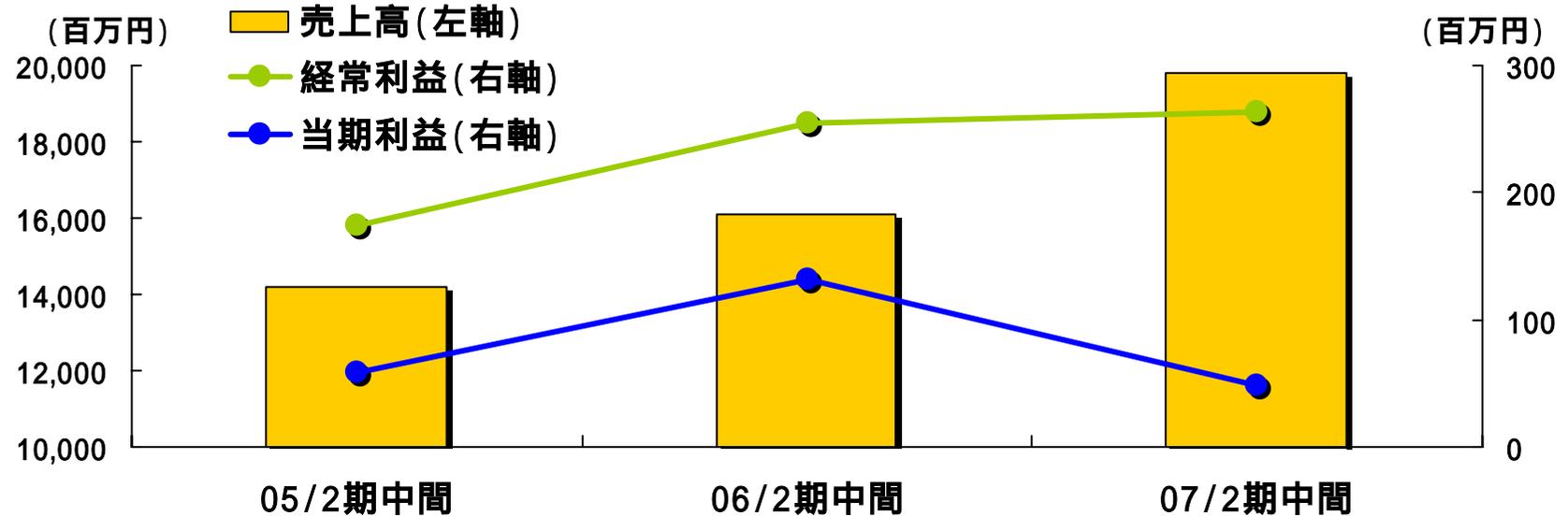
**2007年2月期 中間期**

**決算説明会**

# TAY TWO

2007年2月期 中間期  
決算説明

# 2007年2月期中間期 連結業績サマリー



(百万円)	05年2月期	06年2月期	07年2月期		
	中間期実績	中間期実績	中間期実績	期初公表値	対公表値
売上高	14,200	16,107	19,789	17,030	+2,759
営業利益	174	260	296	155	+137
営業利益率	1.2%	1.6%	1.5%	0.9%	+0.6P
経常利益	174	255	264	130	+131
経常利益率	1.2%	1.6%	1.3%	0.8%	+0.5P
中間純利益	58	131	49	45	+3
中間純利益率	0.4%	0.8%	0.3%	0.3%	0.1P

# 2007年2月期中間期 対前年同期比較

## 【連結損益計算書】中間期

(百万円)	2006年2月期 中間期(05/3～8)		2007年2月期 中間期(06/3～8)		前年同期比
売上高	16,107	100.0%	19,789	100.0%	22.9%
売上原価	11,596	72.0%	14,962	75.6%	29.0%
売上総利益	4,510	28.0%	4,827	24.4%	7.0%
販売費一般管理費	4,250	26.4%	4,530	22.9%	6.6%
営業利益	260	1.6%	296	1.5%	14.1%
経常利益	255	1.6%	264	1.3%	3.3%
中間純利益	131	0.8%	49	0.3%	62.1%

新品ゲームを中心に古  
本市場事業の売上が  
拡大  
アイ・カフェ事業、EC事  
業も着実に成長

退職給付会計原則法  
の適用、アイ・カフェ一  
部店舗の減損処理等  
による特別損失134百  
万円を計上

## 【単体損益計算書】中間期

(百万円)	2006年2月期 中間期(05/3～8)		2007年2月期 中間期(06/3～8)		前年同期比
売上高	14,667	100.0%	18,738	100.0%	27.8%
売上総利益	4,089	27.9%	4,557	24.3%	11.5%
営業利益	234	1.6%	361	1.9%	54.2%
経常利益	222	1.5%	340	1.8%	52.9%
中間純利益	97	0.7%	110	0.6%	13.3%

## 2007年2月期中間期 事業セグメント別対前年比

### ■事業セグメント別売上高

(百万円)	2006年2月期 中間期(05/3~8)	2007年2月期 中間期(06/3~8)	増減率
連結売上高	16,107	19,789	22.9%
古本市場事業	14,571	17,939	23.1%
アイ・カフェ事業	1,302	1,609	23.6%
EC事業	259	274	5.6%

### ■事業セグメント別営業利益

(百万円)	2006年2月期 中間期(05/3~8)		2007年2月期 中間期(06/3~8)		増減率
連結営業利益	260	1.6%	296	1.5%	14.1%
古本市場事業	785	5.4%	1,083	6.0%	38.0%
アイ・カフェ事業	101	7.8%	311	19.3%	-
EC事業	2	1.2%	23	8.5%	-
消去又は全社	420	-	451	-	-

## 2007年2月期中間期 事業セグメント別予実対比

### 【連結】

(百万円)	期 初 計 画		実 績		達成率
売上高	17,030	100.0%	19,789	100.0%	116.2%
営業利益	155	0.9%	296	1.5%	191.5%
経常利益	130	0.7%	264	1.3%	203.1%
当期純利益	45	0.3%	49	0.3%	110.6%

### 【事業セグメント別】

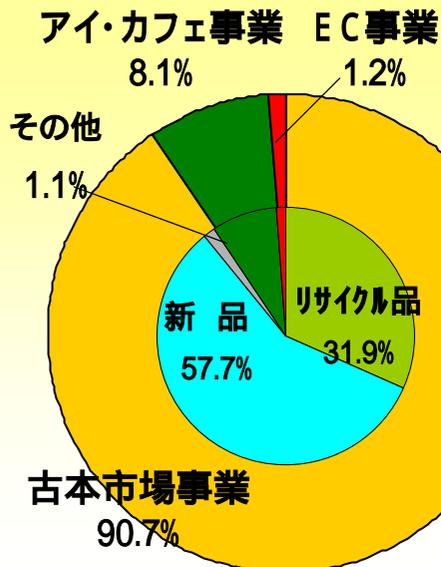
(百万円)	期初計画	実 績	達成率
<b>連結売上高</b>	<b>17,030</b>	<b>19,789</b>	<b>116.2%</b>
古本市場事業	14,820	17,939	121.0%
アイ・カフェ事業	1,890	1,609	85.1%
EC事業	320	274	85.7%
<b>連結営業利益</b>	<b>155</b>	<b>296</b>	<b>191.0%</b>
古本市場事業	825	1,083	131.3%
アイ・カフェ事業	180	311	-
EC事業	10	23	-
消去又は全社	480	451	-

新品ゲームを中心に古本市場事業の売上が大きく拡大

# 2007年2月期中間期 品目別売上高・売上総利益【連結】

## 売上高、構成比

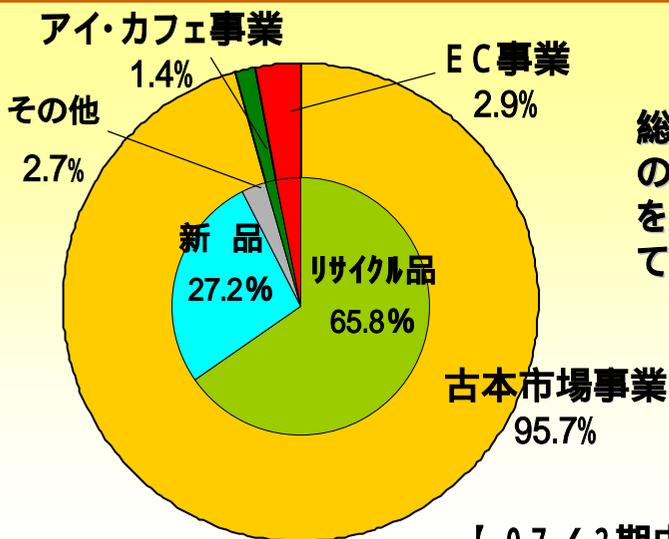
新品内訳	百万円	
	06/2	07/2
新刊書籍	367	394
新品ゲーム	6,687	9,692
新品CD	506	575
新品DVD	781	712
その他	65	51
合計	8,408	11,426



リサイクル内訳	百万円	
	06/2	07/2
古本	2,136	2,148
中古ゲーム	2,884	3,274
中古CD	438	356
中古DVD	514	527
合計	5,973	6,306

## 売上総利益、構成比

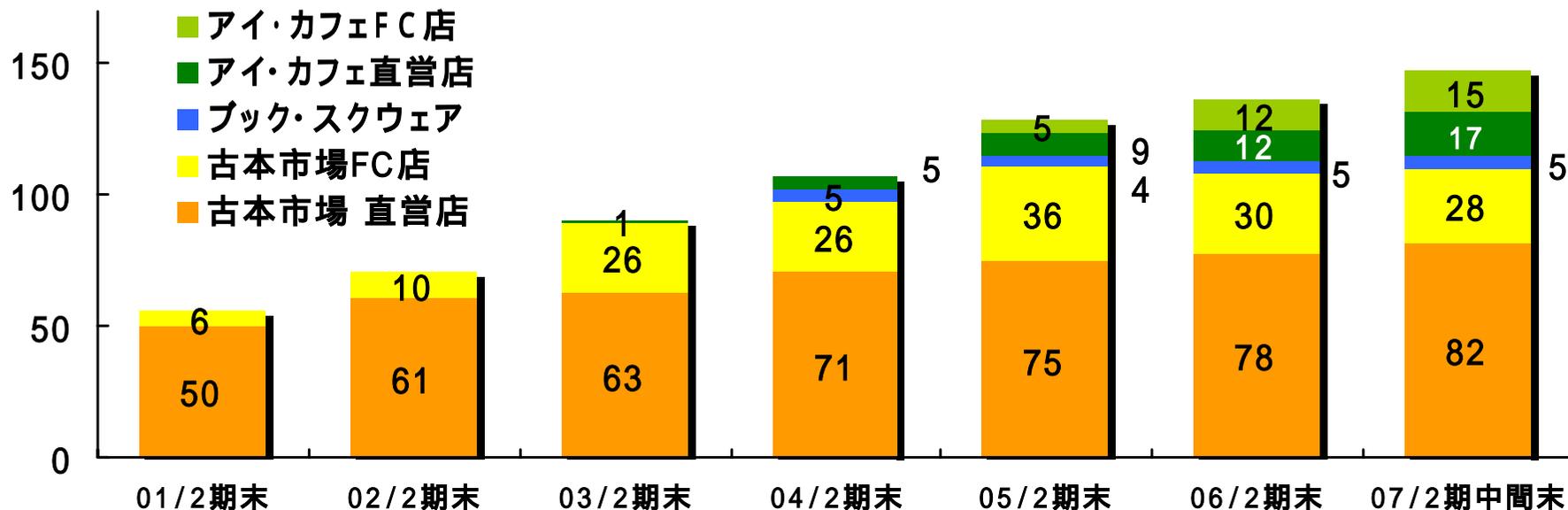
セグメント別	百万円	
	06/2	07/2
古本市場事業	4,197	4,619
リサイクル	3,041	3,178
新品	1,056	1,312
その他	99	129
アイ・カフェ事業	182	66
EC事業	130	141
合計	4,510	4,827



アイ・カフェ事業の売上総利益の減少は直営店の出店に伴う費用の多くを売上原価として認識しているため

【07/2期中間 構成比】

# 2007年2月期中間期 出店状況



	06/2期	07/2期 中間期				増減数
	期末	出店	退店	形態変更	期末	
古本市場直営店	78	+2	0	+2	82	+4
古本市場FC店	30	+2	2	2	28	2
ブック・スクウェア	5	0	0	0	5	±0
アイ・カフェ直営店	12	+5	0	0	17	+5
アイ・カフェFC店	12	+3	0	0	15	+3
合計	137	+12	2	0	147	+10

2006年9月1日に直営店(桜木インター店)を事業譲渡し、FC店としております。上記の数字は事業譲渡前の数字を反映しております。

# 2007年2月期 中間期 貸借対照表【連結】

	2006年2月期末		07年2月期 中間期末		増減額
<b>流動資産</b>	6,152	54.1%	6,293	52.9%	141
現金・預金	1,452	12.8%	1,500	12.6%	48
たな卸資産	3,779	33.2%	3,597	30.3%	182
その他	921	8.1%	1,196	10.1%	275
<b>固定資産</b>	5,215	45.9%	5,595	47.1%	380
有形固定資産	2,418	21.3%	2,680	22.5%	262
無形固定資産	267	2.3%	224	1.9%	43
投資その他	2,529	22.2%	2,689	22.6%	160
<b>総資産</b>	11,367	100%	11,889	100.0%	522
<b>流動負債</b>	4,877	42.9%	4,813	40.5%	64
買掛金	1,346	11.8%	1,714	14.4%	368
短期借入金	2,535	22.3%	1,832	15.4%	703
その他	996	8.8%	1,267	10.7%	271
<b>固定負債</b>	2,193	19.3%	2,781	23.4%	588
長期借入金	1,819	16.0%	2,336	19.6%	517
その他	374	3.3%	445	3.7%	71
<b>純資産</b>	4,296	37.8%	4,294	36.1%	2
株主資本	3,971	34.9%	3,998	33.6%	27
評価換算差額等	4	0.0%	3	0.0%	1
少数株主持分	320	2.8%	292	2.5%	28

(百万円)

直営店7店舗  
の出店による  
有形固定資  
産、差し入れ  
保証金などの  
増加

新品ゲームの  
仕入増加によ  
る買掛金の増  
加

借入金につい  
ては、CFの状  
況をみながら  
コントロール

【参考】

設備投資額(連結)  
902百万円  
減価償却費(連結)  
232百万円

2006年2月期末の純資産は、新会計基準に基づき組替を行っております。

# 2007年2月期中間期 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	06年2月期 中間期 2005/3～8	07年2月期 中間期 2006/3～8
営業キャッシュ・フロー	336	882
投資キャッシュ・フロー	426	625
財務キャッシュ・フロー	213	209
現金及び現金同等物	1,057	1,417

## 営業CFの内訳

	07/2期中間期
税引前当期純利益	143
減価償却費	232
売上債権増加額	182
たな卸資産減少額	180
仕入債務増加額	368
その他	203
法人税等支払	62
営業CF計	882

### 営業キャッシュフロー

新品ゲームの売上好調に伴う仕入債務の増加

+

退職給付会計原則法の適用等による引当金の増加

### 投資キャッシュフロー

直営店の出店による出店投資の増加

### 財務キャッシュフロー

短期および長期借入金の返済による減少

# TAY TWO

2007年2月期 中間期  
事業概況

# 古本市場事業の概況

## 大幅増収・増益を達成

	06/2期中間期	07/2期中間期	前年同期比
売上高	14,571 百万円	17,937 百万円	+ 23.1%
営業利益	785 百万円	1,083 百万円	+ 38.0%

### 1. 新品ゲーム、中古ゲームが好調

「ニンテンドーDS Lite」や「PS2ファイナルファンタジー」、「DSニュースーパーマリオブラザーズ」などの新品ゲームハード・ソフトの販売が好調に推移。  
 また、中古ゲーム、新品CDの販売も好調に推移し、前年同期比で大幅増収・増益。

### 2. 店舗レイアウトの変更

効率的な売場づくりを目的に、全店舗の店舗レイアウトの見直し実施

### 3. 大幅な店舗改装を実施(2店舗)



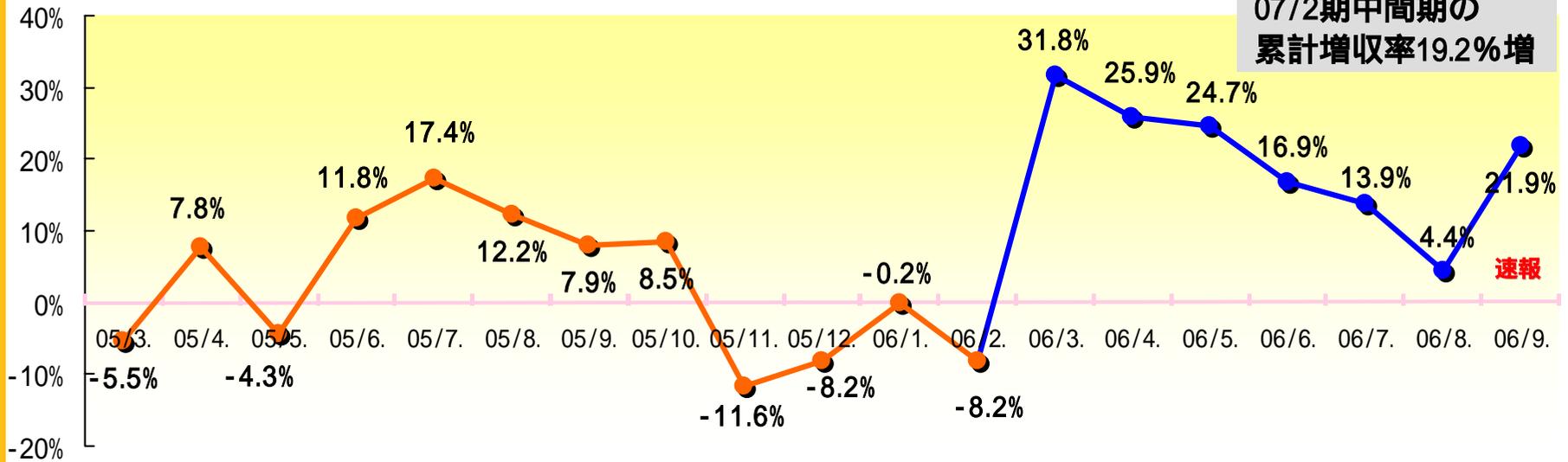
古本市場野口店  
改装前



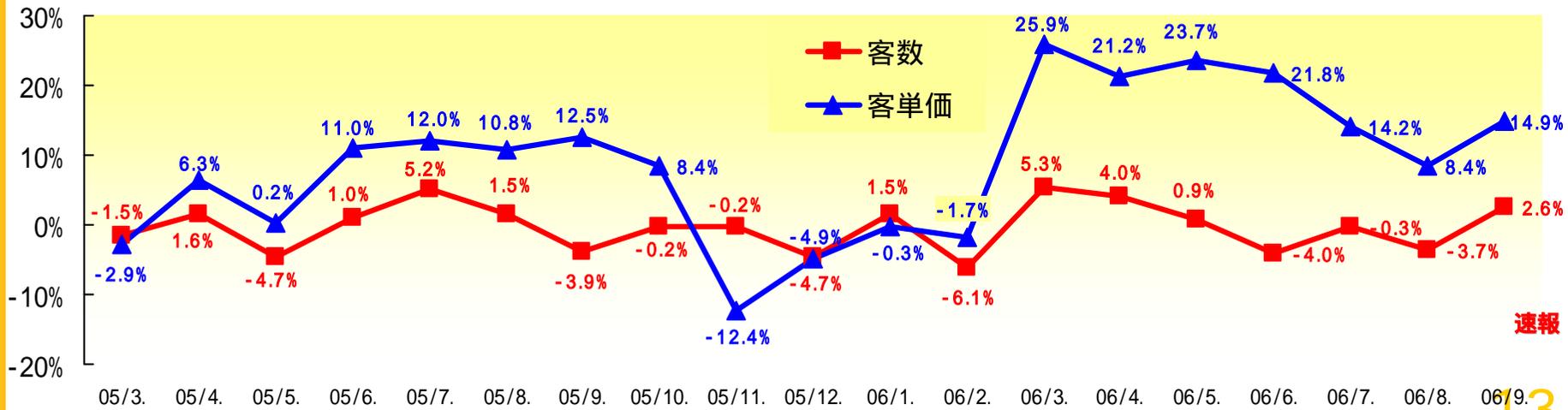
古本市場野口店  
改装後

# 【古本市場事業】 既存店月次増減率推移

## 古本市場事業 直営店(既存店)売上高増減率



## 古本市場 直営店(既存店)客数・客単価増減率



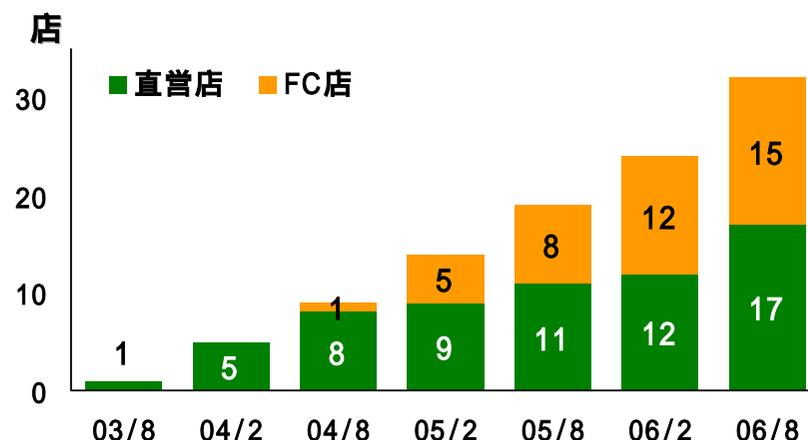
# アイ・カフェ事業の概況

前年同期比増収を達成。直営店5店舗、FC店3店舗の新規出店も実施。

	06/2期中間期	07/2期中間期	前年同期比
売上高	1,302 百万円	1,609 百万円	+23.6%
営業利益	101 百万円	311 百万円	-

## 直営店・FC店合わせて32店舗に拡大

- 直営店は新規5店舗を出店し17店舗に
- FC店は新規3店舗を出店し15店舗に
- 桜木インター店を事業譲渡しFC店に
- 直営店の出店数拡大に伴う営業損失の拡大



▶前期に比べて直営店の出店を拡大させるに伴い出店費用が増加

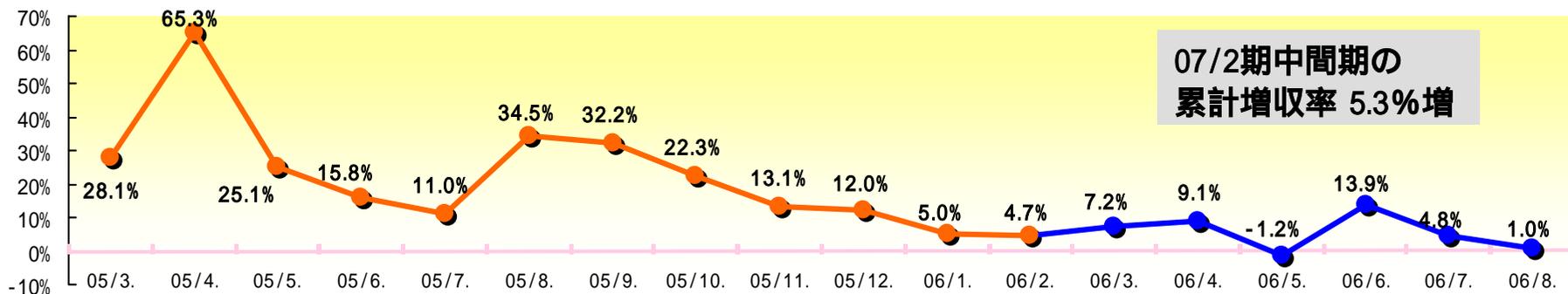
前期：2店舗出店

当期：5店舗出店

出店関連費用 266百万円 +490百万円 756百万円

# アイ・カフェ事業の概況

## 既存店 売上増減率



07/2期中間期の  
累計増収率 5.3%増

## 新規開業店舗

### 直営店は新規 5 店舗

4月



**PABOT S 函館店**  
(北海道函館市)

4月



**286 KAGITORI店**  
(宮城県仙台市)

5月



**NORBESA店**  
(北海道札幌市)

6月



**西神戸店**  
(兵庫県神戸市)

7月



**東岡山店**  
(岡山県岡山市)

### FC店は新規 3 店舗

4月



**松山キスケBOX店**  
(愛媛県松山市)

5月



**鴻巣MEGA-MIX店**  
(埼玉県鴻巣市)

7月



**真砂本町店**  
(鹿児島県鹿児島市)

# アイ・カフェ事業の店舗展開の状況

## 積極的な出店戦略により 直営店・FC店の全国展開を加速



### 中国・四国地方

- 【岡山県】  
岡山本店  
倉敷笹沖店  
東岡山店  
中庄サンフラワー店【FC】
- 【愛媛県】  
松山キスケBOX店【FC】

### 北陸・信越地方

- 【新潟県】  
桜木インター店
- 【福井県】  
Annex堀の宮店【FC】

### 近畿地方

- 【大阪府】  
平野店  
天王寺アポロ店  
心斎橋店
- 【和歌山県】  
紀の川店【FC】  
宮街道店【FC】
- 【兵庫県】  
西神戸店

### 九州・沖縄地方

- 【福岡県】  
コマースモール博多店【FC】
- 【鹿児島県】  
真砂本町店【FC】

### 北海道

- 【北海道】  
アイ・カフェ + plus デトックス・スパ石の恵 NORBESA店  
札幌センチュリーロイヤルホテル店  
PABOT'S函館店

### 東北地方

- 【宮城県】  
Bivi仙台店  
246KAGITORI店
- 【山形県】  
Annexららパーク天童店【FC】

### 関東地方

- 【東京都】  
AKIBA PLACE店
- 【埼玉県】  
入間店  
八潮店  
大宮南店  
蓮田店【FC】  
鴻巣MEGA-MIX店【FC】  
越谷駅西口店【FC】
- 【群馬県】  
高崎店【FC】  
Annex大間々店【FC】  
Annex金古店【FC】  
Annex安中店【FC】



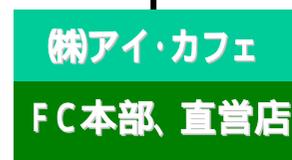
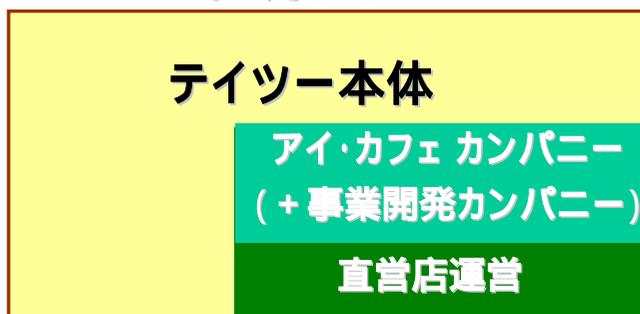
# アイ・カフェ事業 - 事業統合 -

## より機動的な意思決定、業務効率の改善を目的とした事業統合

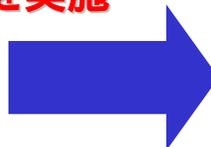
### アイ・カフェ事業の統合

今後の直営店・FC店の積極展開を見据え、9月1日をもってテイツーのアイ・カフェ事業を分社型吸収分割により株式会社アイ・カフェに承継

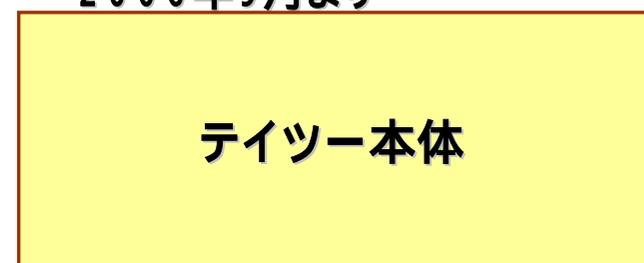
2006年8月まで



分社型吸収分割  
を実施



2006年9月より



事業集約

(株)アイ・カフェに継承される資産、負債の項目および金額

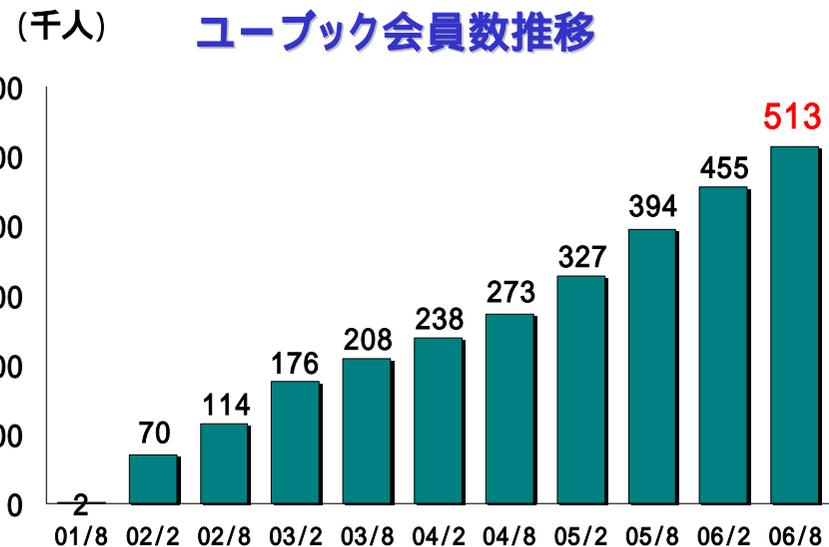
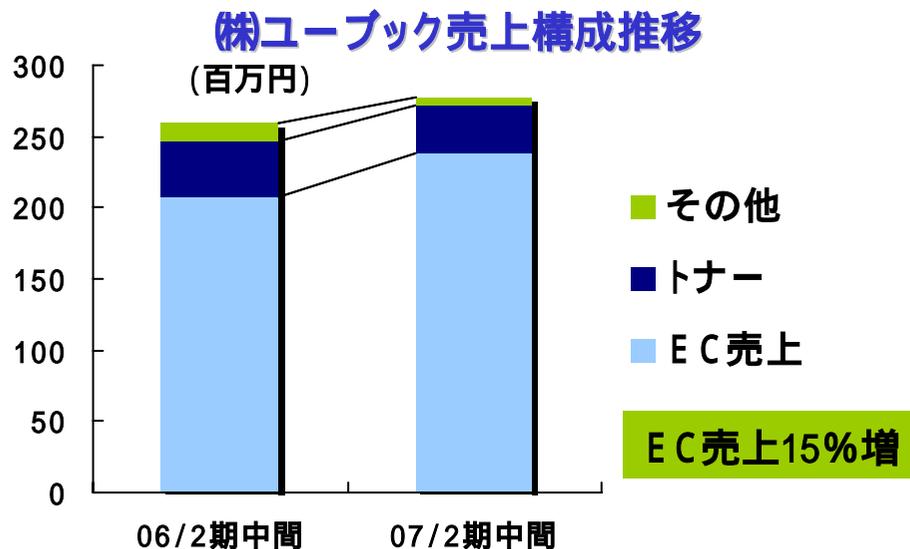
資産		負債	
流動資産	119	流動負債	201
固定資産	1,032	固定負債	230
合計	1,152	合計	432

# EC事業の事業概況

会員数・売上ともに増加。会員数は前年同期比12万人増の51万人に。

	06/2期中間期	07/2期中間期	前年同期比
売上高	259 百万円	274 百万円	+5.6%
営業利益	2 百万円	23 百万円	-

- 買取強化キャンペーンや各種販促活動により、EC売上を中心に売上高は着実に拡大
- 新規事業へのシステム投資の影響やアクセス数の増加に対応してシステム増強等により、利益面では減益に



EC売上が着実に拡大

# TAY TWO

2007年2月期 業績予想

■連結通期予想

(百万円)	2006年2月期		2007年2月期				前期比 増加率
	実績		期 初 計 画		2006年9月15日修正		
売上高	35,556	100%	38,720	100%	41,000	100%	15.3%
営業利益	679	1.9%	850	2.2%	850	2.1%	25.1%
経常利益	672	1.9%	800	2.1%	800	2.0%	19.0%
当期純利益	160	0.5%	340	0.9%	340	0.8%	112.0%

EPS	317円
BPS	7,852円
ROA	5.9%
ROE	4.0%

665円
9,085円
6.8%
7.9%

- 売上高は上半期の好調を反映し、上方修正
- 利益は今期出店したアイ・カフェ直営店の立ち上がりの遅れやFC店出店の遅れを考慮し、据え置きに

■単体通期予想

(百万円)	2006年2月期		2007年2月期				前期比 増加率
	実績		期 初 計 画		2006年9月15日修正		
売上高	33,270	100%	34,800	100%	37,750	100%	13.5%
営業利益	677	2.0%	640	1.8%	800	2.1%	18.2%
経常利益	646	1.9%	600	1.7%	750	2.0%	16.0%
当期純利益	150	0.5%	280	0.7%	300	0.8%	99.0%

EPS	298円
BPS	8,147円
ROA	6.6%
ROE	3.7%

587円
8,505円
7.1%
7.1%

- 上半期の新品ゲームを中心とした古本市場事業の好調を反映し、売上高、利益ともに上方修正

# 2007年2月業績見通し

## ■事業セグメント別売上高

	2007年2月期		前期比 増加率
	期 初 計 画	2006年9月15日修正	
連結売上高	38,720	41,000	15.3%
古本市場事業	33,670	37,000	13.7%
アイ・カフェ事業	4,000	3,400	33.9%
EC事業	1,050	600	25.3%

	2006年2月期 実績
連結売上高	35,556
古本市場事業	32,537
アイ・カフェ事業	2,539
EC事業	478

### 【 修正要因 】

#### 連結売上高

古本市場事業の好調により、上方修正

#### 古本市場事業

上半期新品ゲームを中心とした売上好調を反映

#### アイ・カフェ事業

アイ・カフェFC出店の遅れ等の反映

#### EC事業

新商材の取扱い計画開始時期変更の影響

# 2007年2月業績見通し

## ■事業セグメント別営業利益

	2007年2月期		前期比 増加率
	期 初 計 画	2006年9月15日修正	
営業利益	850	850	25.1%
古本市場事業	1,805	2,070	17.4%
アイ・カフェ事業	0	310	- %
EC事業	0	20	- %
消去又は全社	955	890	- %

	2006年2月期
	実 績
営業利益	679
古本市場事業	1,763
アイ・カフェ事業	182
EC事業	27
消去又は全社	873

### 【 修 正 要 因 】

#### 連結売上高

連結営業利益合計は修正なし

#### 古本市場事業

売上好調に伴う売上総利益の増加

#### アイ・カフェ事業

FC出店の遅れ、今期出店の直営店立ち上がりの遅れを反映

#### 消去又は全社

本社部門統合、アイ・カフェ統合による経営効率の改善

TAY TWO

參考資料

# 会社概要

社名	株式会社テイツー (英訳名 TAY TWO CO.,LTD.)
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日:JASDAQ
本社	岡山県岡山市今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1秀和芝パークビルA館8F (2005年10月開設)
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及びビデオレンタル業務 2.インターネットサイト  古本市場 <a href="http://www.ubook.co.jp">www.ubook.co.jp</a> の運営(連結子会社:(株)ユーブック) 3.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 (連結子会社:(株)アイ・カフェ)
グループ会社	株式会社ユーブック、株式会社アイ・カフェ、インターピア株式会社
従業員数	正社員388人、パート・アルバイト1,336人 計1,724人(2006年10月1日現在、連結)
資本金	1,165百万円(2006年8月末現在)
発行済株式数	551,400株:単元株制度なし(2006年8月末現在)
株主数	6,974名(2006年8月末現在)

# Mission

---

## 経営理念

**「満足を創る」**

## スローガン

**Customer Value Creation ~ 顧客価値の創造 ~**

## 行動指針

### **ティツーの七感**

- ・変化を観る「目」をもつ
- ・お客様の声を聴く「耳」をもつ
- ・親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- ・自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- ・常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- ・お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- ・お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

テイツー・グループ・スローガン

# Customer Value Creation

## ～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2007年2月期第中間期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2006年8月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 片山 靖浩・徐(ソウ)チョンホン

TEL03-5408-5532 FAX03-5408-5501

E-mail: [ir@tay2.co.jp](mailto:ir@tay2.co.jp)

URL: <http://www.tay2.co.jp>